資料３

小樽に暮らすみんなの部室
オタルブ

合同会社PortoParco
代表社員　三﨑　一彦

合同会社PortoParco

「小樽の孤独・孤立を感じている人をゼロにする」
をミッションに
作業療法士３人と障害を持った方１人（＋母親）の４人で立ち上げた会社

所在地：小樽市花園１丁目４番２号
（花園銀座商店街）
設立年月日：2023年6月
資本金：400万円
事業：喫茶（オタルブ）、生活支援、
講師派遣、場所づくりコンサルテーション
小樽ベンチプロジェクト

社名の意味

Porto（港）

何か新しい武器（知識・スキル）を持って，まだ知らない世界（社会）へ出航（チャレンジ）するための準備（学び）をみんなで手伝う場.
もし出航し，途中で進めなくなったら，いつでも我々が助けに行って，港にえい航する.
そしてまた次の出港にむけて，休息をとり，出航する気になればまた準備をみんなで手伝う場.

Parco（公園）

自由に作業が出来る場．オープンに人と対話出来る場．港に戻って来た人の経験を聴き，繋がり，新たな船乗りが誕生するかもしれない場.

みんなにとってのPortoとParcoを共創する会社

小樽に暮らすみんなの部室

オタルブ

エンパワメント系喫茶店

所在地：小樽市花園１丁目４番２号（花園銀座商店街）
開業日：2024年6月30日
定休日：火・水曜日他
営業時間：8～12時、13～18時
席数：18席
スタッフ：月・木；三﨑
　　金；三﨑＆作間
　　土・日；三﨑＆作間
　　＆白井

オタルブのコンセプト

小樽に暮らすみんなの部室

部室のようにワイワイガヤガヤしながら、**やりたいことをする場所**

エンパワメント系喫茶店

こちら側が答えを押し付けるのではなく、対等な立場の一人の人間としてお客さんに接し、お客さんが**主体的に行動する（できるようになる）場所**

地球人に楽しんでもらえる自家焙煎コーヒーショップ

小樽を訪れる外国人観光客にとっても、一息つきながら**地元民と交流したり作戦会議をする場所**

つまり、

~~**「何かをしてくれる場所」**~~

「主体的にやりたい事や、やってみたい事を実現するプロセスの中で
ゆるい繋がりが出来る（かもしれない）場所」